

治山事業による効果的な流木対策に関する検討会議 第3回検討会議 議事概要

日時：令和6年2月27日（火）10：00～12：00

場所：新潟県自治会館本館 2F 201 会議室

【出席委員】

権田座長、西井委員、北原委員、浅野委員

【事務局】

応用地質（株）、農林水産部治山課

【会議の概要】

- (1) 第2回検討会議等の指摘事項と対応
- (2) 流木被害のおそれのある危険渓流の調査方法
- (3) 流木被害の軽減を目指すために必要な対策の方針
- (4) 流木発生メカニズムの確認事項

【主な意見】

1) 流木被害のおそれのある危険渓流の調査方法

○流木流出危険度評価において、単位面積当たりの想定流木量が少なくCランク評価となる箇所でも、流域面積が大きければ流木量の総量は多くなるので、そのような箇所をフォローする手立てが必要と考える。（西井委員）

○谷密度の計測手法において、計測に適する図面の種類や縮尺について記載したほうがよい。（西井委員）

○今後、全県の渓流で発生流木量の予測式に使用するにあたり、諸元値の単位を統一することで、計算間違いを防げると考える。（西井委員）

○流木流出危険度評価フロー図と箇所別点検記録表の危険度評価の関係が分かるように修正するほうがよい。（浅野委員）

2) 流木被害の軽減を目指すために必要な対策の方針

○森林整備方針において、山腹崩壊防止のための森林整備を目指すのか、発生した流木被害の軽減のための森林整備を目指すのかが混在して分かりづらい印象なので、整理することが望ましい。（浅野委員）

○森林整備方針において、どの程度の森林を目指すかイメージがしにくいため、具体的な目標値等を設定したほうがよいと考える。(北原委員)

○森林整備方針において、目標数値等を設定することは、今後活用していくうえで重要だと思うが、多様な地域性を考慮すると具体的な内容の記載は難しいと考える。(権田座長)

以上